

令和3年度業務実績に関する評価書（事務局案）に対する意見

業務実績評価について（中村委員長）
2頁8行目： 「 <u>評定なし</u> 」とする。 → 「 <u>評定なし</u> 」とし、評価の対象から除外した。
全体評価についての意見（並木委員）
大学院生の方のグッドデザイン賞の受賞は、大学院での地域貢献の仕組み作りという点で特筆される内容だと思いました。 今後もこのような取り組みを積極的に実施していただければと思います。
大項目別評価への意見（中村委員長）
(1) 5頁 下から3行目： 予期しないことが起きる世の中において <u>大学が目指すデザイン概念</u> が・・・ → <u>地域、国そして地球規模で予期しないことが起きる激動の世の中</u> にあって大学が「 <u>造形・表現</u> 」と「 <u>問題発見・解決プロセス</u> 」の両者を指向するデザイン概念が・・・
(2) 6頁6行目： ・・・全国的に見ても珍しい取り組み。 → ・・・全国的に見ても珍しい取り組みであり、 <u>長岡市との共同事業について、2021年度グッドデザイン賞を受賞した。</u>
(3) 6頁下から4行目： ・・・旧姓および通称使用の要領の <u>制定したこと</u> や・・・ → ・・・旧姓および通称使用の要領を <u>制定したこと</u> や・・・
(4) 6頁下から1行目： ・・・ <u>環境改善につなげたことは良い取り組み。</u> → ・・・ <u>環境改善にも積極的に取り組んでいる。</u>
(5) 11頁下から1,2行目： ・・・ <u>作り上げた成果。</u> （ <u>改行</u> ）さらに、すべての学生が・・・ → ・・・ <u>作り上げた成果。</u> （ <u>改行なし</u> ）さらに <u>これらについて</u> 、すべての学生が・・・
(6) 12頁下から3,4行目： ・・・第4アトリエ棟（仮称）は、各スタジオ・・・より良い環境 <u>となっている。</u> → ・・・第4アトリエ棟（仮称）の <u>整備基本計画</u> では、各スタジオ・・・より良い環境 <u>作りを指向した。</u>
評価書全体への意見（楨委員）
コロナ禍という特異的環境下で、中期計画の大項目（4区分）が俯瞰的に、着実に実行されていると評価します。教育研究組織の見直し、第4アトリエ棟の整備、地域課題への積極的取組み、長岡学の設置、地域貢献プロジェクトの展開など公立大学法人としての役割と使命を自覚したチャレンジ精神を感じます。その結果、3倍を超える志願倍率や就職率の高さなど大学の人気評価に繋がっているものと思います。 国内外の情勢が大きく変化する現在、変化に積極的に対応することが建学の精神を守ることに通じるものと思います。
評価書全体への意見（水澤委員、草間委員）
意見・質問なし。